



V3n

CYCLOCOMPUTER



はじめに

このたびは、CATEYE V3n をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
V3n は、これまでのサイクロコンピュータの機能を高め、安全で科学的なトレーニングに活用していただくために作られています。

速度・ケイデンス一体型のスピードセンサーと心拍センサーには、無線 LAN などに使われる周波数 2.4GHz のデジタル通信技術を採用しています。これにより計測において外部ノイズや混信の影響を受けにくく、信頼性の高いデータを記録・保存することができます。

ご使用の前に本説明書を最後までよくお読みいただき、本器の機能を十分にご理解の上、安全に正しくご使用ください。この説明書は、ご使用の際にいつでも見れるように大切に保管してください。

お願い

- 本書内の警告マーク  に記載されている内容は、必ずお守りください。
- 本書の内容の全部、または一部を無断で複製・転載することは禁止します。
- 本書に記載してありますイラストは、製品の改良などにより、製品と合致しない箇所の生じる場合がありますのでご了承ください。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

マニュアルの読み方

CC-TR210DW をご購入の場合

お買求めの製品には心拍センサー、装着ベルトは同梱されていません。オプションの心拍センサーキットを使用すると心拍数関連や消費カロリーの計測、および HR ターゲットゾーン機能など本書に記載の全ての機能がご利用できます。

とにかく使ってみよう

自転車への取付け、心拍センサーの使い方、コンピュータの準備と本器の基本的な使い方を説明しています。

1. 自転車への取付け 7 ~ 9 ページ
2. 心拍センサーの使い方 10 ページ
3. コンピュータの準備 11 ~ 15 ページ
4. コンピュータの基本操作 17 ~ 19 ページ

表示について知りたい

本器で計測可能な各種データと機能を説明しています。

- 計測画面 20 ~ 24 ページ

計測データを確認をしたい

コンピュータに保存されたファイルの確認や管理を説明しています。

- ファイルビュー 26 ~ 29 ページ

コンピュータの設定を変更したい

メニュー画面の各種設定の変更手順を説明しています。

- コンピュータの設定変更 25 ~ 37 ページ

こんな計測がしたい

- 周回毎や区間を区切って計測したい 「ラップ機能」(22 ページ)
- 心拍数を一定に保ってトレーニングしたい 「3 HR ターゲットゾーンの使用」(41 ページ)

目次

はじめに.....	1	コンピュータの設定変更.....	25
マニュアルの読み方.....	1	ファイルビュー.....	26
正しくご使用いただくために.....	3	時刻・日付設定.....	30
スピードセンサー ID の自動認識に ついて.....	4	タイヤ設定.....	31
各部の名称と付属品.....	5	センサー ID 照合.....	32
コンピュータ.....	5	計測単位設定.....	34
付属品.....	5	積算距離手入力.....	34
画面表示について.....	6	オートモード設定.....	35
自転車への取付け.....	7	カウントダウン設定.....	36
ブラケットをステムまたはハンド ルバーに取付けます.....	7	サウンド設定.....	37
スピードセンサーとマグネットを 取付けます.....	8	HR ターゲットゾーン設定.....	37
コンピュータの着脱.....	9	心拍数管理によるトレーニング.....	39
心拍センサーの使い方.....	10	一般の健康増進のためのトレーニ ング.....	39
心拍センサーを装着する前に.....	10	選手のためのトレーニング.....	40
心拍センサーの装着.....	10	HR ターゲットゾーンの使用.....	41
コンピュータの準備.....	11	トラブルと処理.....	42
フォーマット操作.....	11	表示上のトラブル.....	42
日付・時刻の設定.....	12	操作上のトラブル.....	44
タイヤ周長の入力.....	13	電池の交換.....	45
計測単位の選択.....	14	コンピュータ.....	45
動作テスト.....	14	心拍センサー.....	45
フォーマットとリスタート.....	16	スピードセンサー.....	45
コンピュータの基本操作.....	17	メンテナンス.....	46
計測画面の機能.....	17	交換部品.....	46
計測のスタート/ストップ.....	18	製品仕様.....	47
バックライト.....	18	ユーザー登録のご案内.....	48
計測データのリセット操作.....	19	保証規定.....	48
節電機能.....	19		
計測画面.....	20		
上段・中段表示データ.....	20		
下段表示データ.....	21		
ベース機能.....	22		
ラップ機能.....	22		
カウントダウン距離.....	24		
HR ターゲットゾーン.....	24		



ホームページ上で動画を交えた詳しい解説や取扱説明書をダウンロードできますのでご活用ください。

<http://www.cateye.com/jp/products/detail/CC-TR310TW/>



正しくご使用いただくために

本器を安全に、末永くお使いいただくために次の点を守ってお使いください。

本文中のマークの意味（アラートシンボルマーク）

⚠警告 このマークのついた文章は、安全上および取扱い上において大変重要です。必ず守ってください。

⚠注意 人体への影響や物的損傷の程度によって「警告」「注意」を区分しています。

※ 知っておくと便利な機能または補足説明について記載しています。

⚠警告

- ・ペースメーカーをご使用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。
- ・走行中はデータに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
- ・電池交換により取出した電池は、幼児の手の届かないところに置き、正しく処理してください。万一、飲み込んだときは、すぐに医師と相談してください。

⚠注意

- ・マグネットとセンサーとの位置関係、取付け状態を定期的に点検し、ゆるみがある場合は、しっかりと締付けてください。
- ・炎天下の放置は避けてください。
- ・コンピュータ、心拍センサー、スピードセンサーは分解しないでください。
- ・コンピュータ、心拍センサー、スピードセンサーは落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ・シンナーやベンジンを使ってのお手入れはしないでください。
- ・装着ベルトや電極パッドで皮膚がかぶれる等の異常がある場合は、使用を中止してください。
- ・装着ベルトは、無理にねじったり引っ張ったりしないでください。
- ・装着ベルトは、長期間の使用で劣化します。
頻繁に計測ミスが起きる場合は、装着ベルトを交換してください。
- ・液晶の特性として、偏光レンズサングラスでは、画面表示が見えにくくなります。

2.4GHz デジタル無線について

ケイデンス一体型のスピードセンサーと心拍センサーには、無線 LAN などに使われる周波数 2.4GHz のデジタル通信技術を採用しています。これにより計測において外部ノイズや混信の影響を受けにくく、従来に比べ信頼性の高いデータを記録・保存することができますが、次のような場所や環境では干渉を受け、正しい計測が行えない場合があります。

※ 特にセンサー ID 照合中にはご注意ください。

- ・テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや、自動車、鉄道車両内。
- ・踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地等。
- ・他のコードレス機器や一部のライトと併用してご利用の場合。
- ・Wi-Fi 環境下

スピードセンサー ID の自動認識について

スピードセンサーは ID を持っており、コンピュータはこの ID を照合して計測を行います。

コンピュータには、2 つのスピードセンサー ID を登録することができ、事前に登録すると自動で 2 つのスピードセンサーを識別することができます。

また、スピードセンサー ID にはタイヤ周長が設定されるため、従来機種で必須であった手動での周長切替は必要なくなりました。

※画面には、センサーアイコン (①、②) で認識中のスピードセンサーを表示します。

自動認識の流れ

コンピュータが節電画面へ移行し、その後計測画面に戻ったとき、以下の流れでスピードセンサー ID の自動認識が行なわれます。

1. コンピュータは直前まで同期していたスピードセンサー ID の信号をサーチします。
2. センサー信号を受信するとスピードセンサーのセンサーアイコンが点灯し、計測を開始します。
直前まで同期していたスピードセンサー ID の信号を受信できない場合は、もう一方のセンサー信号をサーチします。
3. コンピュータがもう一方のセンサー信号を受信すると画面にもう一方のセンサーアイコンが点灯して、計測を開始します。
もう一方のスピードセンサー ID の信号も受信できない場合は、再び元のセンサー信号をサーチします。

通信障害など、何らかの理由で一度同期に失敗しても上記の流れで同期を繰り返しますが、この場合は、認識に時間がかかります。

※5 分間経過してもスピードセンサーからの信号を受信できない場合は、③・④が消灯して受信スリープ状態になり、さらに 5 分間経過すると節電画面に切替ります。

手動での ID 切替

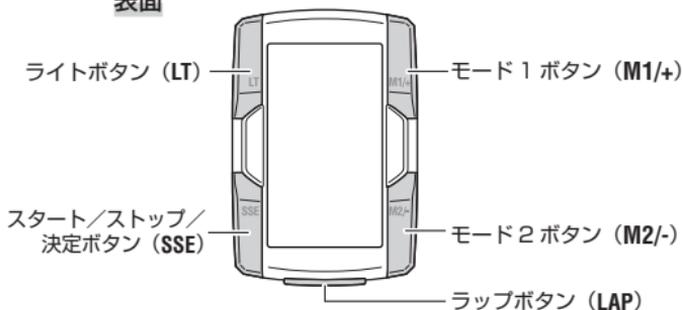
メニュー画面の「タイヤ設定」(31 ページ) でスピードセンサー ID を手動で強制的に切替えることができます。次のような場合に活用してください。

- 登録した 2 つのスピードセンサーが近くにあり、双方からセンサー信号が発信中で任意のセンサー信号を認識させられないとき。
 - 早急にスピードセンサー ID を切替えたいとき。
- ※手動でスピードセンサー ID の切替えを行った場合、計測画面に戻った時点で切替えたスピードセンサー ID のみをサーチし続けます。センサー信号を受信できない場合は、10 分後に節電画面に切替わります。その後、計測画面に戻ると自動認識の手順で、サーチを行ないません。

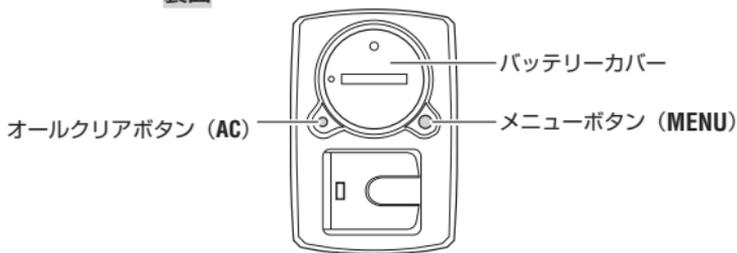
各部の名称と付属品

コンピュータ

表面



裏面



付属品

ブラケットバンド



ブラケット
ゴムパッド



ブラケット



ダイヤル



スピードセンサー (SPEED/CADENCE)



センサーゴムパッド



ホイール
マグネット



ケイデンス
マグネット

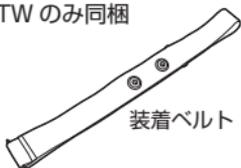


※CC-TR310TW のみ同梱

心拍センサー



装着ベルト



ナイロントイ
(5本)



画面表示について

: スピードセンサー信号
スピードセンサー信号の受信状態 (19 ページ) を知らせます。

: アラーム
サウンド設定の HR アラームがオンのときに点灯します。

: センサーアイコン
同期中のスピードセンサーを表示します。

: 心拍センサー信号
心拍センサー信号の受信状態 (19 ページ) を知らせます。

: HR ターゲットゾーン
HR ターゲットゾーンがオンのときに点灯、ゾーンを外れたときに点滅します。

: 速度ペースアロー
走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

km/h mph: 計測単位
計測中に点滅します。

: コンピュータバッテリーアイコン
コンピュータの電池残量低下時に点灯します。

: 平均値表示
点灯中は、速度、心拍数、ケイデンス表示が平均値であることを示します。

: 最高・最大値表示
点灯中は、速度、心拍数、ケイデンス表示が最高(最大)値であることを示します。

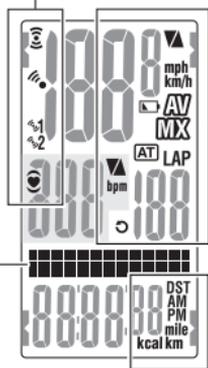
: 心拍数ペースアロー
心拍数が平均心拍数より上回る (▲) か下回る (▼) かを表します。

bpm: 心拍数単位

: オートモード
オートモード機能がオンのときに点灯します。

LAP: ラップ表示アイコン
ラップデータ表示中に点灯します。

: ケイデンスセンサー信号
ケイデンスセンサー信号の受信状態 (19 ページ) を知らせます。



ドット表示部

主に現在、画面下段に表示しているデータを表します。

選択データアイコン・単位

現在、画面下段に表示しているデータと合わせて表示します。

ボタナビ

コンピュータのセットアップ時または、メニュー画面において、操作可能なボタンを知らせます。

SSE が有効な時、点灯または点滅します。



自転車への取付け

1 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます

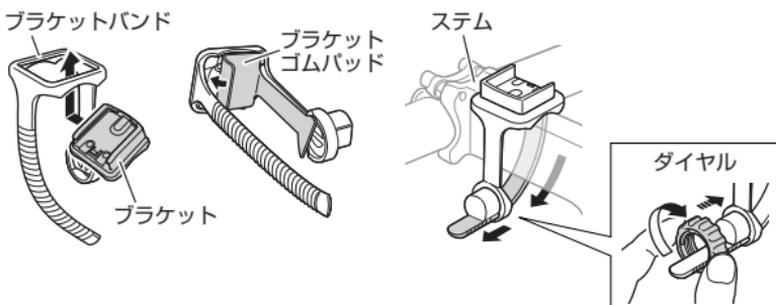
ブラケットはブラケットバンドへの組付け方で、ステム・ハンドルバーのどちらでも取付けることができます。

▲注意

ブラケットバンドのダイヤルは必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

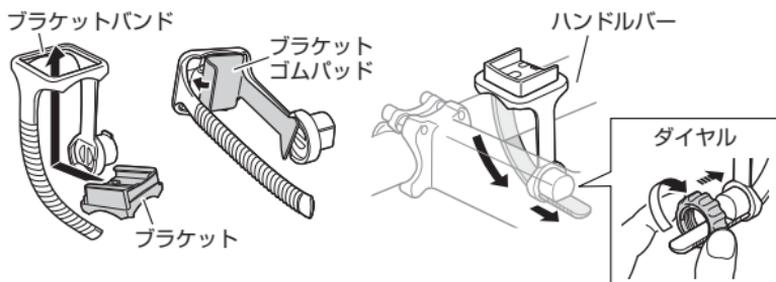
ステムに取付ける場合

※ ブラケットの開口部が右方向を向くように取付けます。



ハンドルバーに取付ける場合

※ ブラケットの開口部が右方向を向くように取付けます。

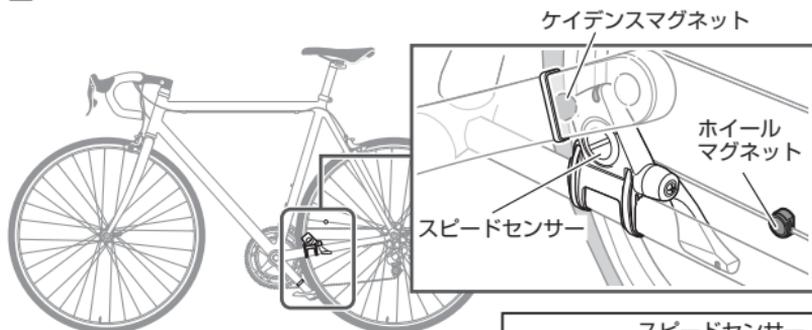


余分なバンドをはさみで切り落とします。

▲注意

切り口でケガをしないよう処理してください。

2 スピードセンサーとマグネットを取付けます



2-1. スピードセンサーを仮止めます

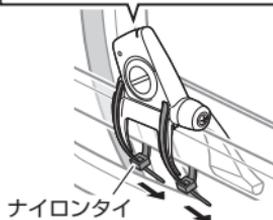
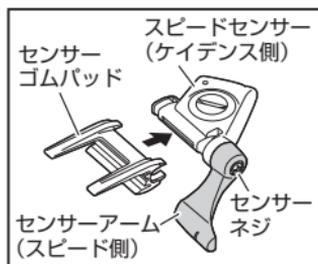
1. プラスドライバーでスピードセンサーのセンサーネジをゆるめ、センサーアームが動くことを確認します。

※ センサーネジは完全に取外さないでください。

2. スピードセンサーにセンサーゴムパッドを取付け、上図を参考に左チェーンステイに乗せて、ナイロンタイで仮止めます。

▲注意

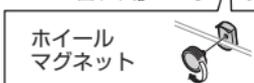
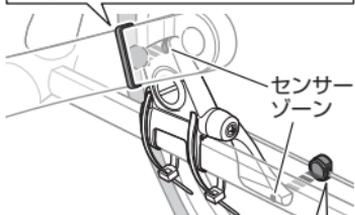
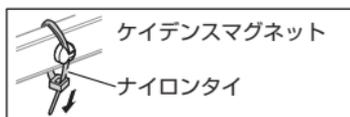
ここでは、ナイロンタイを完全に締付けないでください。ナイロンタイは、一旦締付けると引抜くことはできません。



2-2. マグネットを仮止めます

1. CADENCE 側のセンサーゾーンに対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めます。
2. センサーアームを回転させ、SPEED 側センサーゾーンに対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めます。

※ スピードセンサーが2つのマグネットとの位置関係 (SPEED/CADENCE の両方) を確保できない場合は、スピードセンサーを前後方向に動かし、調整します。このときスピードセンサーの移動に合わせて、必ず各センサーゾーンにマグネットが対面するよう調整が必要です。

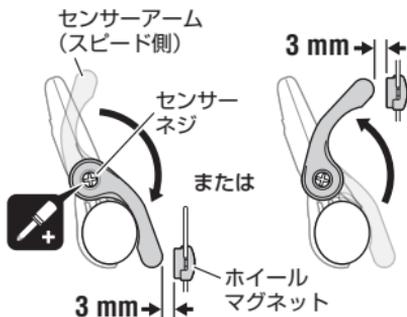


2-3. マグネットとの隙間を調節します

1. ケイデンスマグネットとスピードセンサーのケイデンス側の隙間が約 3 mm になるようにスピードセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。



2. ホイールマグネットとセンサーアーム (スピード側) の隙間が約 3mm になるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかりと締め付け固定します。



2-4. 各部の固定

スピードセンサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締め付け、緩みがないことを確認します。

- ※ 自転車にスチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できません。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。



3 コンピュータの着脱

⚠注意

取外す際は、コンピュータが落下しないよう手を添えながら押出してください。
取付け



取外し



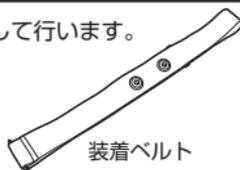
心拍センサーの使い方

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

心拍センサー



装着ベルト



心拍センサーを装着する前に

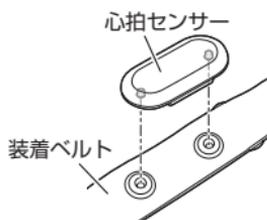
警告

ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

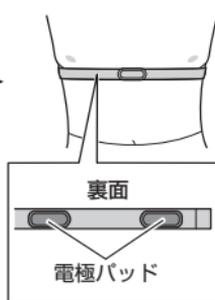
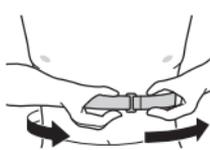
- 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- 皮膚の弱い方などは、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着できます。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

心拍センサーの装着

- 装着ベルトに心拍センサーを取付けます。
「パチン」と音がするまで押込んでください。



- 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端にひっかけて装着します。
装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調節します。きつく締めすぎると計測中、苦痛を感じることがあります。



- ※必ず、電極パッドが身体に密着するようにしてください。
- ※皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着する場合は計測ミスが起こることがあります。
このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

コンピュータの準備

ご使用前にコンピュータのセットアップが必要です。

絶縁シートを抜取る

購入後、初めて使用する際は、コンピュータのバッテリーカバーを開け、絶縁シートを引抜きます。

※引抜いた後は、バッテリーカバーを元に戻します。



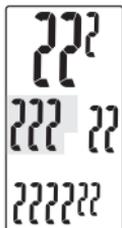
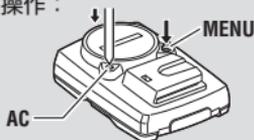
1 フォーマット操作

初めて使用するときや、工場出荷状態に戻すときに行います。

▲注意 全てのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

コンピュータ裏面の **MENU** を押しながら **AC** を押します。
画面にテストパターンが表示されたら **MENU** を離します。
日付・時計設定に切替ります。
続けて次項「日付・時刻の設定」を行います。

フォーマット操作：



テストパターン表示後、全点灯

- ※ 画面にテストパターンが表示されず、全点灯した場合は、フォーマット操作が正しく行われていません。再度、フォーマット操作を行ってください。
- ※ 電池交換を行ったときや、異常表示のときはリスタート操作を行います。

リスタート操作

コンピュータ裏面の **AC** を押します。
画面が 1 秒間全点灯し、日付・時計設定に切替ります。
続けて次項「日付・時刻の設定」を行います。

リスタート操作：



全点灯 (1 秒間)

- ※ フォーマットとリスタートとの違いについては、「フォーマットとリスタート」(16 ページ) をご覧ください。

2 日付・時刻の設定

現在の日付と時刻を設定します。

1. 年月日の表示順を選択します。

表示順は **M1/+**、**M2/-** で「YY/MM/DD (年月日)」、「MM/DD/YY (月日年)」、「DD/MM/YY (日月年)」から選択し、**SSE** で確定します。

表示切替： **M1/+** (または)  **M2/-** 確定：**SSE** 

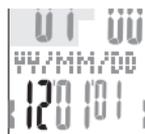


2. 「年」、「月」、「日」を入力します。

手順 1 で選択した順にそれぞれ **M1/+**、**M2/-** で入力し、**SSE** で確定します。「年」は西暦下 2 桁で入力します。

設定範囲：00.01.01 ~ 99.12.31

数値増減： **M1/+** (または)  **M2/-** 確定：**SSE** 



3. 時間の表示形式を選択します。

「24 時表示」、「12 時表示」を **M1/+**、**M2/-** で選択し、**SSE** で確定します。

24h ↔ 12h： **M1/+** (または)  **M2/-** 確定：**SSE** 

表示形式



4. 「時」、「分」を入力します。

「時」を **M1/+**、**M2/-** で入力し、**SSE** で確定後、「分」を同様に入力します。

設定範囲：24h 0:00 ~ 23:59 [12h AM1:00 ~ PM12:59]

数値増減： **M1/+** (または)  **M2/-** 確定：**SSE** 

5. 日付/時刻の設定後、**MENU** を押して、次項「タイヤ周長の入力」を行います。

「タイヤ周長の入力」へ： **MENU** (裏面)

※ リスタート操作の場合は、セットアップが完了して計測画面に移行します。

3 タイヤ周長の入力

ご使用になる自転車のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）をミリ単位で入力します。

1. タイヤ周長の下二桁を入力します。

M1/+、M2/- で入力し、SSE で桁移動して、上二桁を同様にに入力します。

設定範囲：0100 ～ 3999 mm

数値増減： (または) 桁移動：



2. 入力後、MENU を押して、次項「計測単位の選択」を行います。

「計測単位の選択」へ： MENU (裏面)

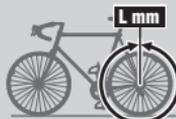
タイヤ周長について

タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める

タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。

※ 目安として、以下のタイヤ周長ガイドをご利用ください。



タイヤ周長ガイド

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4 (369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965
25-520	24x1(520)	1753

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
28-540	24x3/4 Tubuler	1785
32-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1(559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubuler	1920
	26x7/8	
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
	650x25C	
25-571	26x1(571)	1952
40-590	650x38A	2125
40-584	650x38B	2105

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
25-630	27x1(630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	700x23C	2096
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubuler	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
60-622	29x2.3	2326

4 計測単位を選択

計測単位を km と mile から選択します。

1. 計測単位を選択します。

km ↔ mile :  M1/+ (または)
M2/-



2. 選択後、**MENU** を押すと計測画面に移り、コンピュータのセットアップが完了します。

計測画面へ :  MENU (裏面)

5 動作テスト

スピードセンサー (SPEED、CADENCE) と心拍センサーの動作テストを行います。

※ 計測画面に切替えたとき、コンピュータがセンサーを照合するため、計測数値の表示まで最大十数秒遅延する場合があります。

※  または  が消灯しているときは、**M1/+** または **M2/-** を押してアイコンを点灯させてください。

スピードセンサー (SPEED 側)

1. 自転車の後輪を浮かせた状態でタイヤを回します。
2. 画面に速度が表示されると正常です。



スピードセンサー (CADENCE 側)

1. 自転車のクランクを回転させます。
2. 画面にケイデンスが表示されると正常です。



心拍センサー

1. 心拍センサーを装着 (10 ページ) します。
2. 画面に心拍数が表示されると正常です。



※ 心拍センサーは身体に装着してなくても、両方の電極パッドを親指でさすることで心拍信号を発信します。正確な心拍計測には使用できませんが、コンピュータとの通信を確認する場合の簡易方法として活用できます。



重要 速度、ケイデンス、心拍数が表示されないときは、次の場合が考えられます。

速度、ケイデンスが表示されない

チェック項目	対処方法
⑥ は点灯していますか？	⑥ の消灯時は受信できません。M1/+ または M2/- を押して受信スリープ（19 ページ）を解除してください。
スピードセンサーの各センサーゾーンとマグネットの距離が離れすぎていませんか？	自転車への取付け（7 ページ）を参照し、センサーゾーンと対面するマグネットの位置関係を正しく調整します。
スピードセンサーの各センサーゾーンとマグネットの中心がずれていませんか？	
受信スリープ状態や節電画面になっていませんか？	コンピュータ表面のいずれかのボタンを押して、計測画面に戻してください。
状況によって無線状態の関係で表示が遅れる場合があります。	しばらくホイールをまわし続けて速度信号が入らないか確認してください。

心拍数が表示されない

チェック項目	対処方法
♥ は点灯していますか？	♥ 消灯時は受信できません。M1/+ または M2/- を押して受信スリープ（19 ページ）を解除してください。
節電機能が働き日付、時刻だけの表示になっていませんか？	AC 以外のいずれかのボタンを押して、節電状態を解除してください。
電極パッドが身体から離れていませんか？	装着ベルトの電極パッドが身体に密着するように装着してください。
肌が乾燥していませんか？ （特に冬期）	装着ベルトの電極パッドを少し湿らせます。
装着ベルトは身体に正しく装着されていますか？	心拍センサーの装着（10 ページ）に従い、正しい位置に装着します。
心拍センサーは装着ベルトに正しく固定されていますか？	心拍センサーの装着（10 ページ）に従い、心拍センサーを装着ベルトに確実に取付けます。

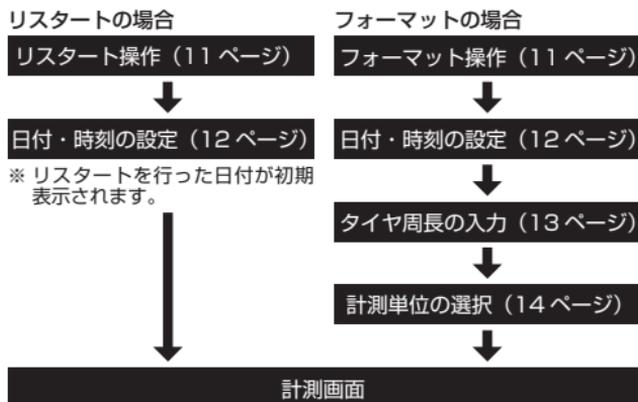
フォーマットとリスタート

コンピュータのセットアップ方法にはフォーマットとリスタートの2通りがあります。状況に応じて使い分けてください。

フォーマット	初めて使用するときやすべての計測データを消去して、設定値を初期化するときに行います。 ※ センサー ID は消去されません。
リスタート	電池交換後、異常表示のときに行ないます。 ※ リスタートでは、以下のデータが保持されます。 <ul style="list-style-type: none">• センサー ID• 日付、時刻• 選択センサー、タイヤ周長• 計測単位設定• 積算距離、積算時間• オートモード設定• カウントダウン設定• サウンド設定• HR ターゲットゾーン設定

フォーマットとリスタートの流れ

フォーマットとリスタートの手順は、以下の通りです。

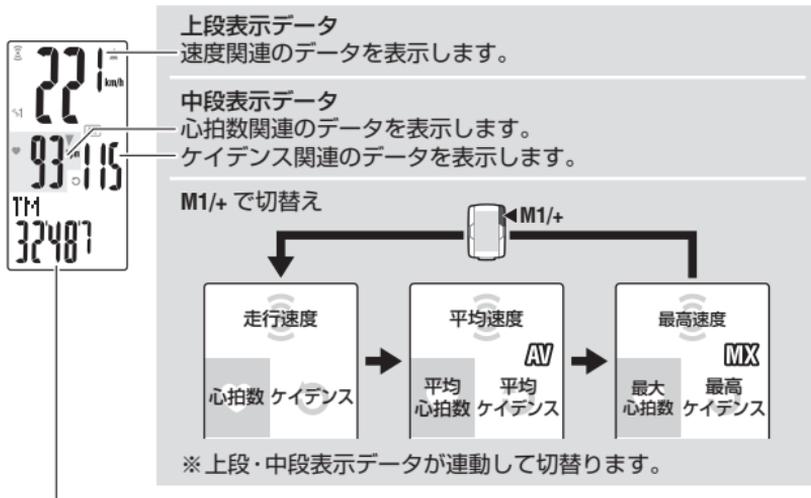


コンピュータの基本操作

計測画面の機能

計測画面には大きくわけて 4 種類の異なる計測データが表示され、M1/+、M2/- を押すことで表示データを切替えます。

表示データの内容は以下の通りです。



下段表示データ
その他のデータを表示します。

M2/- で切替え

計測のスタート/ストップ

計測中は計測単位 (km/h または mph) が点滅します。初期設定では、自転車の動きに合わせて自動で計測をスタート/ストップするオートモード機能がオンになっています。オートモードのオン/オフで自動計測とマニュアル計測を切替えます。

※ オートモードの設定は、メニュー画面「オートモード設定」(35 ページ) をご覧ください。

※ 積算距離、最高速度、最大心拍数、最高ケイデンスは計測のスタート/ストップに関わらず更新されます。

オートモード機能 (自動計測) **AT**

オートモードがオンのとき (**AT** が点灯しているとき) は、車輪の回転を検知して、自動的に計測がスタート/ストップします。

※  や  が消灯した受信スリープ状態では、走行しても計測はスタートしません。休憩後の走行時などにご注意ください。受信スリープを解除するには、**M1/+** または **M2/-** を押してセンサーアイコンを点灯させます。詳しくは「受信スリープ機能」(19 ページ) をご覧ください。

マニュアル計測

オートモードがオフのとき (**AT** が消灯のとき) は、**SSE** の操作で計測をスタート/ストップします。

• ストップリマインダー

ストップリマインダーとは、マニュアル計測中に自転車が 90 秒間停止すると、計測の止め忘れと判断して、計測停止をうながす機能です。

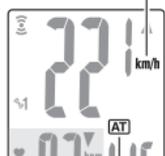
走行時間カウント中にスピードセンサーからの無信号状態が 90 秒間続くと、アラームが鳴り画面に「STOP!」が表示されます。このアラートは 90 秒ごとに 3 回まで繰返し表示され、センサー信号を検知すると停止します。

※ 計測の止め忘れはライドの途中休憩やレース終了後などに起こりがちです。信号などですぐに動き出すような場合は無視してください。

※ この機能は無効にすることができません。



計測単位



オートモード
アイコン



SSE

マニュアル計測の
スタート/ストップ



))ピッ!

STOP!

バックライト

LT を押すと、画面の照明が約 3 秒間点灯します。

※ 照明の点灯中に、いずれかのボタンを押すとさらに約 3 秒間点灯時間が延長されます。



LT

計測データのリセット操作

計測画面のとき **SSE** と **M1/+**、または **M2/-** を同時に押すと計測データ（積算時間、積算距離、日付、時刻を除く）およびラップのデータを 0 に戻すことができます。

- ※ リセット操作を行うと、その計測値がファイルとして自動的に保存されます。（26 ページ）
- ※ リセット操作後の約 2 秒間は、画面が停止し、ボタン操作を受けつけませんが、この間の計測は正常に動作していません。
- ※ カウントダウン距離 (**C.D.DST**→) は設定した値に戻ります。
- ※ **LAP** を押した直後の 5 秒間は、リセット操作は行えません。



節電機能

受信スリープ機能

コンピュータは電池の消費を抑えるためスピードセンサーや心拍センサーからの信号が 5 分間途絶えると、センサーごとに受信スリープ状態になります。受信スリープ状態ではセンサー信号を受信できません。計測を再スタートするときは **M1/+** または **M2/-** を押して受信スリープを解除してください。各センサーの受信状態は、センサー信号アイコンと数値の「---」表示で確認できます。

(点滅)	信号受信中
(点灯)	信号待機中
消灯	受信スリープ、「---」を表示します。

※ オートモードがオンの場合、受信スリープ状態で走行しても計測はスタートされませんご注意ください。

コンピュータの節電

コンピュータは、約 10 分間無信号状態が続くと、日付/時刻表示のみの節電状態になります。

AC 以外のいずれかのボタンを押すと、節電機能は解除され、計測画面に戻ります。計測の前には節電状態を解除してください。

センサー信号
アイコン

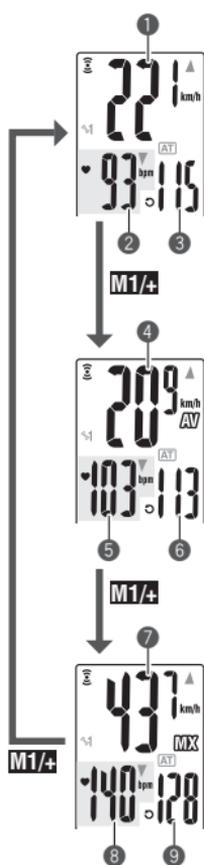


心拍センサー
信号アイコン



節電状態

上段・中段表示データ



- ① 走行速度
現時点の走行速度を表示します。
1秒ごとに更新します。
 - ② 心拍数
心拍数をリアルタイムで表示します。
1秒毎に更新します。
 - ③ ケイデンス
1分間あたりのペダル回転数を表示します。
1秒ごとに更新します。
-
- ④ 平均速度 (*1)
計測開始から現時点までの平均速度を表示します。
 - ⑤ 平均心拍数 (*2)
計測開始から現時点までの平均心拍数を表示します。
心拍計測を行っていない時間は平均値に反映されません。
 - ⑥ 平均ケイデンス (*3)
計測開始から現時点までの平均ケイデンスを表示します。
ペダリングを停止している時間は平均値に反映されません。
-
- ⑦ 最高速度
現時点までの最高速度を表示します。
計測の開始停止に関わらず更新します。
 - ⑧ 最大心拍数
現時点までの最大心拍数を表示します。
計測の開始停止に関わらず更新します。
 - ⑨ 最高ケイデンス
現時点までの最高ケイデンスを表示します。
計測の開始停止に関わらず更新します。

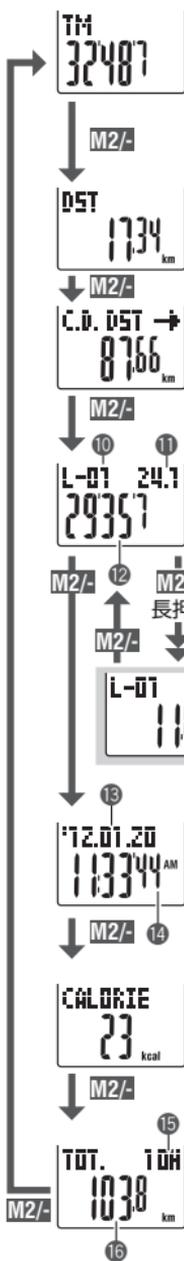
*1: 走行距離 (DST) が 10000 km [mile]、または走行時間 (TM) が 100 時間を超えると「E」が表示され計測できません。リセット操作 (19 ページ) を行ってください。

*2: 本器では、途中で心拍センサーが外れると、その時点で平均値の計算を停止し、もう一度心拍センサーを装着すると計算が再開されます。これにより心拍センサーを装着している間の実質的な平均値を得ることができます。

*3: 本器はペダリングを停止している時間を除いて平均値の計算を行います。これにより、実質的な平均値を得ることができます。

※ CC-TR210DW をご購入の場合、オプションの心拍センサーを使用すると心拍関連のデータが計測できます。

下段表示データ



走行時間

計測開始から現時点までの経過時間を 1/10 秒まで表示します。

99:59' 59" を超えると 00' 00" 0 から繰り返します。

※ 計測時間が 1 時間を超えると 1/10 は表示されません。

走行距離

計測開始から現時点までの走行距離を表示します。

カウントダウン距離 (24 ページ)

計測開始から目標距離までの残り距離を表示します。

10 ラップナンバー (22 ページ)

現在のラップ数を表示します。

11 リアルタイム区間平均速度

前ポイント (L-01 は計測開始) からの平均速度をリアルタイムで表示します。

12 ラップタイマー (リアルタイムラップ)

前ポイント (L-01 は計測開始) からの経過時間をリアルタイムで表示します。

リアルタイム区間走行距離

前ポイント (L-01 は計測開始) からの走行距離をリアルタイムで表示します。

13 日付

現在の日付を年 (西暦下 2 桁)、月、日で表示します。

※ 設定により表示順は異なります。

14 時刻

現在の時刻を 24 時間または 12 時間で表示します。

消費カロリー

計測開始から現時点までの消費カロリーを心拍数を基に推定して表示します。

※ 心拍センサーを装着すると計測できます。

15 積算時間

走行時間を積算し続けます。リセットすることはできません。

16 積算距離

走行距離を積算し続けます。計測のスタート/ストップに関わらず更新されます。

ペース機能

画面には、走行速度、心拍数の2種類のペースアローが表示されます。

現在の走行速度（心拍数）が平均速度（平均心拍数）を上回るか下回るかを矢印のアイコンで表示します。

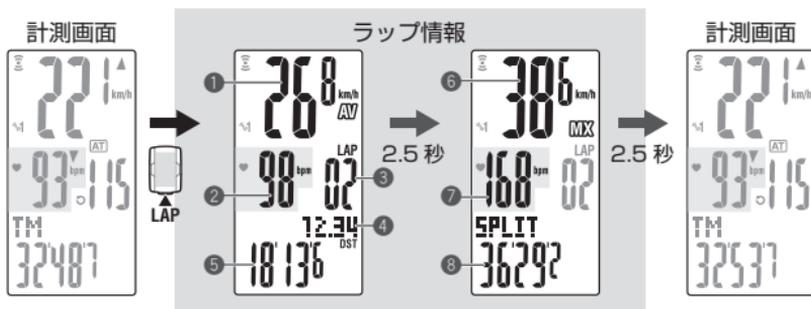
▲	現在値が平均を上回っている。
▼	現在値が平均を下回っている。
消灯	現在値が平均と同じ、または“0”である。



ラップ機能

計測中、計測画面で **LAP** を押すと、ポイント間の計測データ（区間平均速度／区間最高速度、区間平均心拍数／区間最大心拍数、ラップタイム／スプリットタイム、区間走行距離）を最大 99 ラップまで記録できます。

記録直後は、そのラップ情報を下図の順に表示し、計測画面に戻ります。



- 区間平均速度**
- 区間平均心拍数**
前ポイント（L-01 は計測開始）から現在のポイント間の平均速度（平均心拍数）を表示します。
- ラップナンバー**
現在、計測中のラップナンバーを表示します。
※ 総ラップ数が 99 ラップ以上になると「--」が表示され、記録できません。
- 区間走行距離**
前ポイント（L-01 は計測開始）から現在のポイント間の走行距離を表示します。
- ラップタイム**
前ポイント（L-01 は計測開始）から現在のポイント間の所要時間を表示します。
- 区間最高速度**
- 区間最大心拍数**
前ポイント（L-01 は計測開始）から現在のポイント間の最高速度（最大心拍数）を表示します。
- スプリットタイム**
計測開始から現在のポイントまでの経過時間を表示します。

ラップの保存

記録したラップデータは、リセット操作（19 ページ）でファイルに保存され、メニュー画面「ファイルビュー」（26 ページ）で確認することができます。

※総ラップ数が 99 ラップの状態では **LAP** を押すと、ラップ情報が表示されますが、ラップナンバーが「-」となり記録できません。

※ファイル内にラップが記録されていない場合でも「1 ファイル = 1 ラップ」消費されます。従って総ラップ数は、各ファイル内のラップ合計数にファイル数を加算した値となります。

例) ファイルに以下のラップ数が記録されている場合

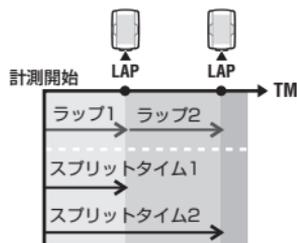
ファイル内の使用ラップ数	ファイル数
F01 : 5 ラップ	3 つ
F02 : 0 ラップ	
F03 : 10 ラップ	

この場合の総ラップ数は、全ファイル中の使用ラップ「15 ラップ」にファイル数「3」を加算した「18 ラップ」になります。

ラップタイムとスプリットタイム

ラップタイムとは、**LAP** が押されたポイントから次に押されるまでのポイント間の経過時間を表します。

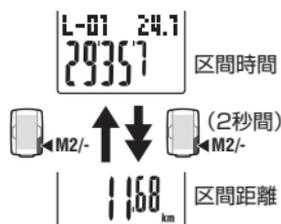
スプリットタイムとは、計測開始から **LAP** が押されたポイントまでのトータルの経過時間を表します。



リアルタイムラップ情報の活用

画面下段に表示されるリアルタイムラップ情報は、通常計測と連動して計測をスタート/ストップしますが、**LAP** を押すたびに計測値が 0 スタートになります。

再スタートのタイミングを通常計測と分けることで、区間計測が可能となりインターバルタイマーやタイムアタックにも利用できます。



カウントダウン距離

カウントダウン距離とは、目標とする走行距離を設定し、そこまでの距離のカウントダウン表示と到達時に通知をする機能です。

目標走行距離に達すると、どの計測データを表示していてもカウントダウン表示に切り替わり、ドット表示部の点滅とアラーム音で通知します。

カウントダウン距離の使用例

1. レース・イベント距離入力

レースやセンチュリーライドなどの距離制イベントで、スタート前にレース・イベント距離を入力し、レース中に残りの距離を確認しながら戦略・ペースを決めます。

2. 目標地標識の距離入力

ツーリングなどで、道路標識に目的地の標識が現れたとき、標識の距離を入力し、残り距離を確認しながらペースを作ります。

3. 定期的目標距離入力

週・月・年単位などで、目標としている距離を入力し、進歩を確認できます。

※カウントダウン距離の設定は、メニュー画面「カウントダウン設定」(36ページ)から行います。



20kmの場合



到達時
(5秒間表示)

HR ターゲットゾーン

計測中、画面の  に HR ターゲットゾーンの状態を確認するマークが表示されます。

 (点灯)	HR ターゲットゾーンが HR.ZONE :1~4 のいずれかに設定されている。
 (点滅)	現在の心拍数が選択したゾーンから外れている。
 (消灯)	HR ターゲットゾーンがオフに設定されている。

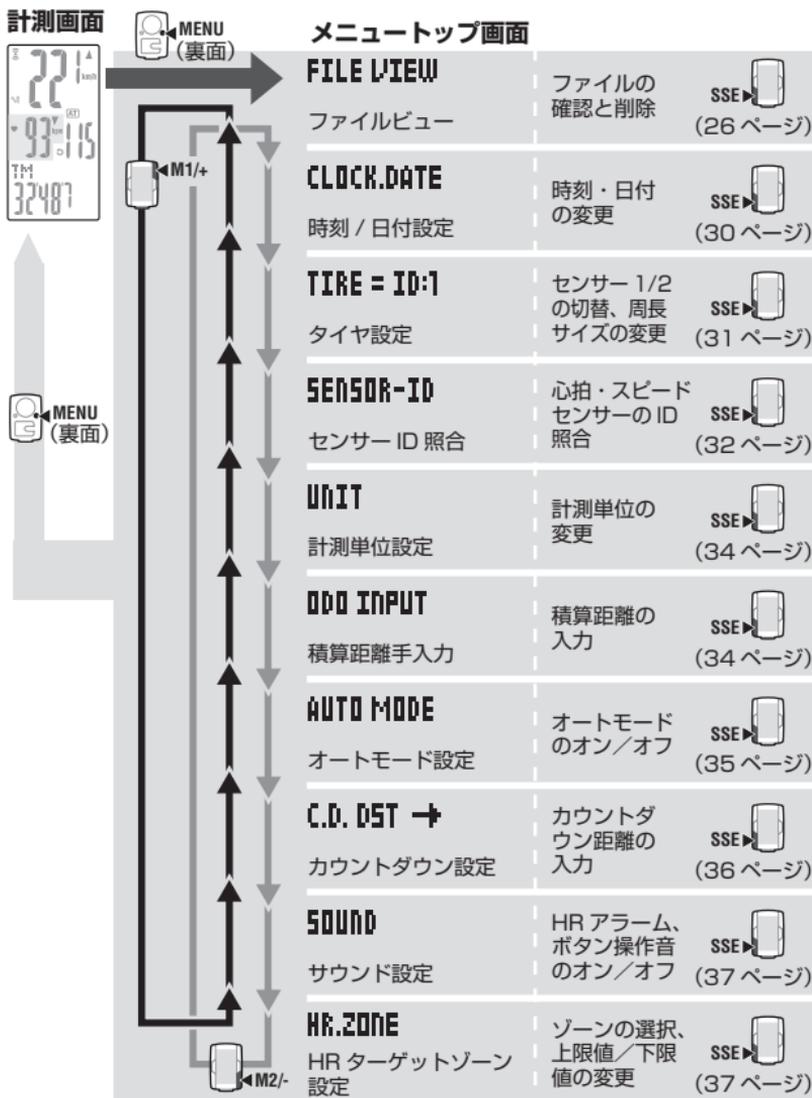
※HR ターゲットゾーンの設定は、メニュー画面「HR ターゲットゾーン設定」(37ページ)から行います。



HR ターゲット
ゾーン

コンピュータの設定変更

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に切替ります。
 メニューでは、保存したファイルの確認や削除、各種設定確認と変更を行います。
 ※メニュー画面の切替は、**M1/+**、**M2/-** で行います。
 ※設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。
 ※メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。



ファイルビュー

FILE VIEW

本器は、リセット操作（19 ページ）を行うとラップデータと共に計測データがファイルとして自動的に保存されます。

ファイルビューでは、保存されたファイルの確認と消去を行うことができます。

ファイルに記録される計測データ

コンピュータには、最大 14 ファイルまで記録することができます。最新のファイルは、常に F-01 として記録され、保存ファイルが 14 ファイルを超えると古いファイルから順次消去されます。



ファイル内に保存される計測データは以下の通りです。

- 走行距離
- 走行時間
- 各平均値（平均速度、平均心拍数、平均ケイデンス）
- 各最大値（最高速度、最大心拍数、最高ケイデンス）
- ファイル作成日、時刻（計測がスタートした日付・時刻）
- 使用ラップ数
- 消費カロリー
- HR ターゲットゾーンに対する時間配分（ゾーン内時間、ゾーンを超えた時間、ゾーンを下回った時間）とその比率（%）
- ラップデータ（区間平均速度、区間平均心拍数、区間最高速度、区間最大心拍数、ラップタイム、スプリットタイム、区間走行距離）

ファイル内の計測データを確認する

コンピュータに保存されたファイルの計測データを確認します。

- 計測画面から **MENU** でメニュートップに切替えます。
FILE VIEW 画面で **SSE** を押します。

総ラップ数

メニュートップ： MENU (裏面)

確定： SSE



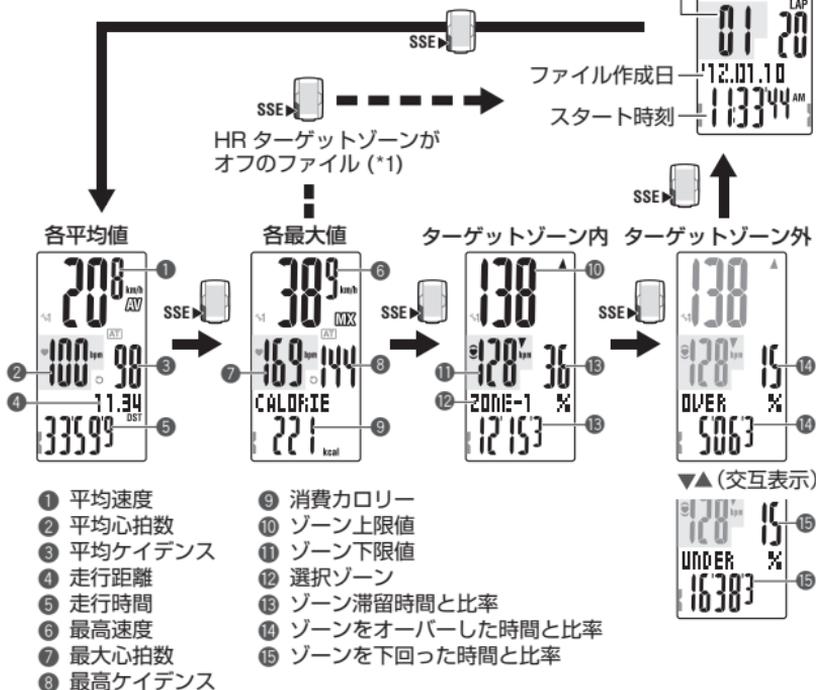
総ファイル数

2. ファイルナンバーを M1/+、M2/- で選択し SSE で確定します。

ファイルナンバー切替： (または)

ファイル
ナンバー
ファイル内の
使用ラップ数

3. SSE を押すごとにファイルに保存されたデータが切替り表示されます。
表示内容は、以下の通りです。



4. ファイル内のどの画面でも MENU を押すとメニュー
トップ (FILE VIEW 画面) に戻ります。もう一度押すと
計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ： MENU
(裏面)

*1: 計測時の HR ターゲットゾーン設定がオフの場合、HR ターゲットゾーンに関するデータは表示されません。

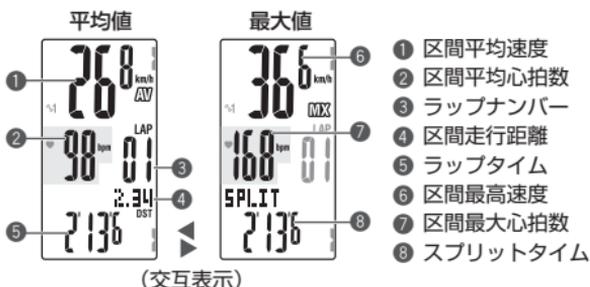
※ データの確認中、LAP を押すとラップ呼出に切替ります。詳しくは「ラップの呼出」(28 ページ) をご覧ください。

ラップの呼出

コンピュータに保存されたファイルのラップデータを確認します。

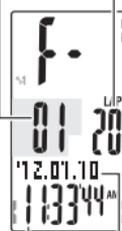
1. メニュー画面「ファイルビュー」(26 ページ) から確認したいファイルナンバーを選択します。
2. **LAP** を押し、選択したファイルに含まれるラップデータを呼出します。
下記の通り、平均値と最高値が交互表示されます。
ラップデータから戻するには、もう一度 **LAP** を押します。

ラップデータ呼出/戻す：



ファイルナンバー

ファイル内の
使用ラップ数



ファイル
作成日

スタート時刻

3. ラップが複数ある場合は、**M1/+**、**M2/-** で切替えます。

ラップナンバー切替：



4. **MENU** を押すとメニュートップ (**FILE VIEW** 画面) に戻ります。もう一度押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ：



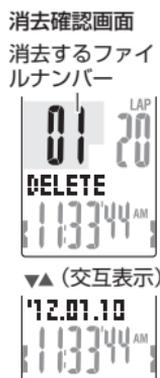
ファイルの消去

コンピュータに保存されたファイルを消去します。
コンピュータは自動的に古いファイルを削除して上書き保存しますが、手動で指定したファイルを消去することもできます。

1. メニュー画面「ファイルビュー」(26 ページ) に切替えます。
2. **SSE** と **M1/+** または **SSE** と **M2/-** を同時に押し、消去画面に切替えます。



3. ファイル作成日・時間から消去したいファイルナンバーを **M1/+**、**M2/-** で選択します。
全てのファイルを一括消去したい場合は **ALL** を選択します。



4. **SSE** を押し、ファイルを消去します。



5. **MENU** を押すとメニュートップ (**FILE VIEW** 画面) に戻ります。もう一度押すと計測画面に戻ります。



- ※ 消去画面で **MENU** を押すとファイルの消去を中止して、元の画面に戻りません。
- ※ コンピュータにファイルがない場合 (F-00 の場合)、操作できません。
- ※ ファイルを消去するとファイル内のラップも消去されます。
- ※ 一旦、ファイルを消去すると元には戻りません。

時刻・日付設定

CLOCK.DATE

「表示形式」、「時」、「分」、「日付表示順」、「年」、「月」、「日」を設定します。

※数値入力では、M1/+、M2/-を長押しすると早送りできます。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
M1/+、M2/- で CLOCK.DATE 画面に切替え、SSE で確定します。



メニュートップ： MENU
(裏面)

メニュー切替： M1/+ (または) M2/- 確定：SSE

2. 時刻の表示形式を選択します。
「24 時表示」、「12 時表示」を M1/+、M2/- で選択し、SSE で確定します。

表示形式



24h ↔ 12h： M1/+ (または) M2/- 確定：SSE

3. 「時」、「分」を入力します。
「時」を M1/+、M2/- で入力し、SSE で確定します。
その後、「分」を同様に入力します。

設定範囲：24h 0:00 ~ 23:59 [12h AM1:00 ~ PM12:59]

数値増減： M1/+ (または) M2/- 確定：SSE

4. 年月日の表示順を選択します。
表示順は M1/+、M2/- で「YY/MM/DD (年月日)」、「MM/DD/YY (月日年)」、「DD/MM/YY (日月年)」から選択し、SSE で確定します。



表示切替： M1/+ (または) M2/- 確定：SSE

5. 「年」、「月」、「日」を入力します。
手順 4 で選択した順にそれぞれ M1/+、M2/- で入力し、SSE で確定します。「年」は西暦下 2 桁を入れます。



設定範囲：00.01.01 ~ 99.12.31

数値増減： M1/+ (または) M2/- 確定：SSE

6. MENU を押すとメニュートップ (CLOCK.DATE 画面) に戻り、変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ： MENU (裏面)

タイヤ設定

TIRE = ID:1

- センサー ID (32 ページ) を照合した SP1 (スピードセンサー 1)、SP2 (スピードセンサー 2) にタイヤ周長 (タイヤの外周長さ) を設定します。
 ※タイヤ周長については、「タイヤ周長について」(13 ページ) をご覧ください。
 ※数値入力では、M1/+、M2/- を長押しすると早送りできます。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
 M1/+、M2/- で TIRE 画面に切替え、SSE で確定します。

認識中のセンサーアイコン

メニュートップ： MENU (裏面)

メニュー切替： M1/+ (または)  M2/- 確定： SSE



現在の周長サイズ

2. ID:1 (センサー 1) または ID:2 (センサー 2) を M1/+、M2/- で選択します。

ID:1 ↔ ID:2： M1/+ (または)  M2/- 確定： SSE



※①、②の切替えだけの場合は、手順 4 へ進みます。

3. 手順 2 で選択したセンサーのタイヤ周長の下二桁を M1/+、M2/- で入力し、SSE で確定します。
 その後、上二桁を同様に入力します。

設定範囲：0100 ~ 3999 mm

数値増減： M1/+ (または)  M2/- 桁移動： SSE



4. MENU を押すとメニュートップ (TIRE 画面) に戻り、変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ： MENU (裏面)

- ※ コンピュータを 1 台の自転車でお使いの場合は、ID:1 (センサー 1) のみ設定します。2 台の自転車を併用している場合は、2 台目の自転車のタイヤ周長を ID:2 (センサー 2) に設定します。
- ※ 計測画面に切替えると、選択したセンサーアイコン (① または ②) が表示されます。2 台の自転車を併用する場合でも、スピードセンサーが自動認識され、そのまま計測を開始することができます (状況によっては自動認識に時間がかかる場合があります)。詳しくは「スピードセンサー ID の自動認識について」(4 ページ) をご覧ください。

センサー ID 照合

SENSOR-ID

心拍センサー、スピードセンサーが発信する ID 信号を受信し、照合します。

- ※ 本器の利用には、必ずセンサー ID 照合が必要です。

センサー ID 照合が正しく行われていない場合、コンピュータはセンサー信号を受信できません。

※ はじめてのご使用の場合 (工場出荷時) は同梱されているコンピュータと各センサーの ID 照合は完了しているため、この操作は不要です。

- ※ センサー ID 照合は、コンピュータの近くに各センサーがあることが必須です。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
M1/+、M2/- で SENSOR-ID 画面に切替え、SSE で確定します。

SENSOR-ID

メニュートップ：  MENU (裏面)

メニュー切替：  M1/+ (または) M2/- 確定： SSE 

2. ID 照合するセンサーを選択します。
「HR (心拍センサー)」、「SP1 (スピードセンサー 1)」、「SP2 (スピードセンサー 2)」から M1/+、M2/- で選択します。



HR ↔ SP1 ↔ SP2：  M1/+ (または) M2/-

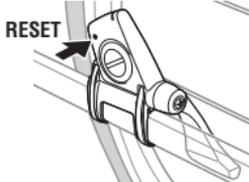
- ※ SP2 は、1 つのコンピュータを 2 台の自転車で併用する場合に使用します。別の自転車に取付けた 2 つ目のスピードセンサーを SP2 で ID 照合しておくことでコンピュータは 2 台の自転車を自動的に識別することができます。

3. SSE を押して、ID 照合を開始します。

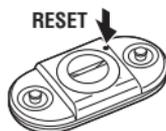
照合開始： 

画面の数値が動いている間に、照合するセンサーの RESET ボタンを押します。

スピードセンサー



心拍センサー



画面に心拍数、または速度（ケイデンス）と「ID-OK」が表示されると照合完了です。

※ コンピュータは、ID 照合開始後、5 分間の待受状態になります。

待受中に SSE を押すと「ID-SKIP」を表示し、ID 照合をキャンセルできます。また、センサー信号を受信しないまま 5 分間経過すると「ID-ERROR」が表示されます。

「ID-SKIP」または「ID-ERROR」が表示された場合、ID は照合前のままです。

4. MENU を押すとメニュートップ（SENSOR-ID 画面）に戻り、変更内容が確定されます。

もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ／計測画面へ：  MENU (裏面)

※ SP2 を活用する場合は、ID:2（センサー 2）のタイヤ周長を設定します。詳しくは「タイヤ設定」（31 ページ）をご覧ください。

計測単位設定

UNIT

計測単位 (km または mile) を変更します。

1. 計測画面から **MENU** でメニュートップに切替えます。
M1/+、**M2/-** で **UNIT** 画面に切替え、**SSE** で確定します。

メニュートップ：  **MENU**
 (裏面)

メニュー切替：  **M1/+** (または) **M2/-** 確定： **SSE** 



現在の計測単位

2. 計測単位を **M1/+**、**M2/-** で選択します。

km ↔ mile：  **M1/+** (または) **M2/-**



3. **MENU** を押すとメニュートップ (**UNIT** 画面) に戻り、
 変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ：  **MENU**
 (裏面)

※計測単位の切替後、これまで計測した計測値は変更後の単位で自動換算されます。

積算距離手入力

ODO INPUT

積算距離に任意の数値を入力すると、その値から積算距離をスタートできます。
 フォーマット操作する場合や、コンピュータを買換えた場合に、これまでの積算距離を引継ぐことができます。

※数値入力では、**M1/+**、**M2/-** を長押しすると早送りできます。

1. 計測画面から **MENU** でメニュートップに切替えます。
M1/+、**M2/-** で **ODO INPUT** 画面に切替え、**SSE** で確定します。

メニュートップ：  **MENU**
 (裏面)

メニュー切替：  **M1/+** (または) **M2/-** 確定： **SSE** 



現在の積算値

2. 積算距離を M1/+、M2/- で入力し、SSE で桁移動します。
 ※ 積算距離は、4 桁表示から始まり順次右送りで小文字を含めた 6 桁の整数が表示されます。

設定範囲：0 ~ 999999 km [mile]

数値増減： (または)

桁移動：SSE



下 4 桁を表示



3. MENU を押すとメニュートップ (ODO INPUT 画面) に戻り、変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ： MENU (裏面)

オートモード設定

AUTO MODE

オートモード (18 ページ) のオン/オフを切替えます。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
 M1/+、M2/- で AUTO MODE 画面に切替え、SSE で確定します。

メニュートップ： MENU (裏面)

メニュー切替： (または) 確定：SSE



現在の設定

2. オン、オフを M1/+、M2/- で選択します。

ON ↔ OFF： (または)



3. MENU を押すとメニュートップ (AUTO MODE 画面) に戻り、変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ： MENU (裏面)

カウントダウン設定

C.D. DST →

カウントダウン距離（24 ページ）の目標走行距離を入力します。

※数値入力では、M1/+、M2/- を長押しすると早送りできます。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
M1/+、M2/- で C.D. DST → 画面に切替え、SSE で確定します。

メニュートップ：  MENU (裏面)
 メニュー切替：  M1/+ (または) M2/- 確定： SSE 

C.D. DST →
 1000 km

現在の設定値

2. 目標距離を M1/+、M2/- で入力し、SSE で桁移動します。

設定範囲：0.0 ～ 9999.9

数値増減：  M1/+ (または) M2/- 桁移動： SSE 

※目標距離は、0.1 km 単位まで設定可能です。

C.D. DST →
 0 1000 km

目標距離
 100.0 km の
 場合

3. MENU を押すとメニュートップ(C.D. DST → 画面)に戻り、変更内容が確定されます。
もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ：  MENU (裏面)

サウンド設定

SOUND

HR ターゲットゾーンのアラーム音、ボタン操作音のオン/オフを切替えます。

1. 計測画面から **MENU** でメニュートップに切替えます。
M1/+、**M2/-** で **SOUND** 画面に切替え、**SSE** で確定します。



2. HR アラーム、ボタン操作を **SSE** で切替えます。



HR ゾーン
アラーム音



ボタン操作音



3. オン、オフを **M1/+**、**M2/-** で選択します。



4. **MENU** を押すとメニュートップ (**SOUND** 画面) に戻り、
 変更内容が確定されます。
 もう一度、押すと計測画面に戻ります。



HR ターゲットゾーン設定

HR.ZONE

HR ターゲットゾーン (1 ~ 4) またはオフの選択と各ゾーンの上限值/下限値を変更します。

- ※ HR ターゲットゾーンを変更する場合は、事前に計測を停止し、リセット操作 (19 ページ) を行ってください。リセット操作が行われていない場合、画面に「DATA RESET」が表示されて変更できません。
- ※ HR ターゲットゾーンの詳細については、「3 HR ターゲットゾーンの使用」(41 ページ) をご覧ください。
- ※ 数値入力では、**M1/+**、**M2/-** を長押しすると早送りできます。

1. 計測画面から MENU でメニュートップに切替えます。
M1/+、M2/- で HR.ZONE 画面に切替え、SSE で確定します。

メニュートップ：  MENU (裏面)

メニュー切替：  M1/+ (または) M2/- 確定： SSE 



2. HR ターゲットゾーンを選択します。
「OFF」、「1」～「4」のいずれかを M1/+、M2/- で選択します。
HR ターゲットゾーンを使用する場合、「1」～「4」を選択し、SSE で確定後、手順 3 へ進みます。
HR ターゲットゾーンを使用しない場合は「OFF」を選択し、手順 4 へ進みます。

ゾーン選択 (OFF ⇄ 1 ⇄ 2 ... 4 ⇄ OFF)：  M1/+ (または) M2/-

確定： SSE 



3. 選択中のゾーンの下限値を M1/+、M2/- で入力し、SSE で確定します。その後、上限値を同様に入力します。

設定範囲： 0 ～ 240 (*1)

数値増減：  M1/+ (または) M2/- 確定： SSE 

4. MENU を押すとメニュートップ (HR.ZONE 画面) に戻り、変更内容が確定されます。
もう一度、押すと計測画面に戻ります。

メニュートップ/計測画面へ：  MENU (裏面)



- *1: 各ゾーンは自由に上限値/下限値を入力できますが、下限値が上限値を超えた場合、上限値は自動的に下限値 + 1 の数値に調節されます。上限値の場合も同様に下限値が調節されます。

※ 上限値は 199 を超えると小文字を整数として表示します。

※ ゾーンは、他のゾーンと重なっても問題ありません。

心拍数管理によるトレーニング

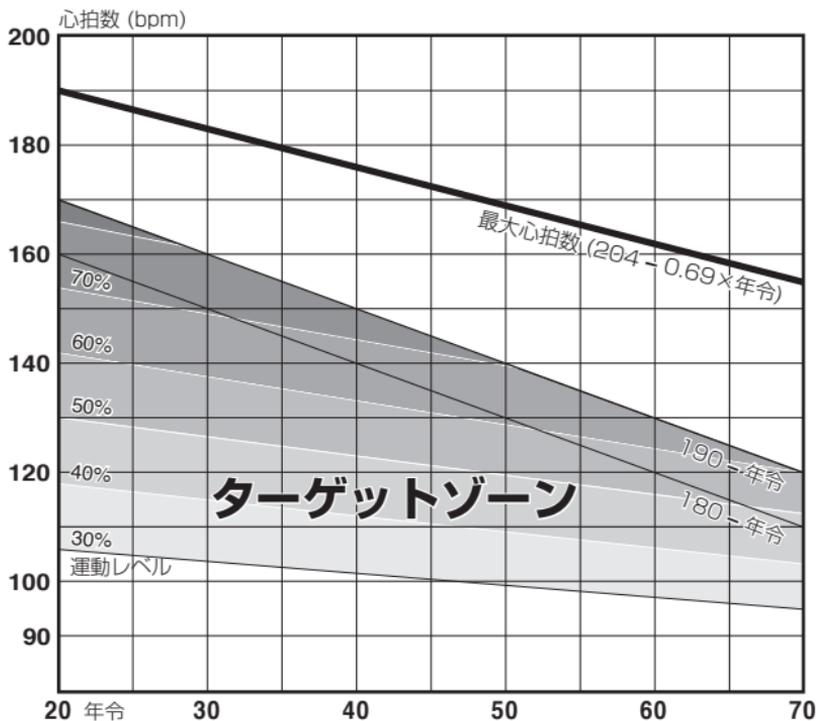
人の心拍数は、一般に運動によって高くなります。同一人においては、運動レベルと心拍数はほぼ比例関係にあり、心拍数は運動レベルの大変よい指標です。従って、心拍数を設定してその心拍数を維持するように運動するトレーニング方法は、科学的なトレーニング方法であり、一般の人の健康増進から一流選手のトレーニングまで広く応用できます。なお、トレーニングを開始する前に、医師または専門トレーナーへの相談をお勧めします。

1 一般の健康増進のためのトレーニング

自転車による運動を通じて健康増進を図る目的のトレーニングは、あなたの体力に応じて運動レベル30%から70%位までの間で目標心拍数(HRターゲットゾーン)を決め、週に3回以上、1回20分以上、できれば30分以上実施してください。運動レベルと心拍数の関係は、下図を参考に目標心拍数を求めてご利用ください。

初心者は、30%前後の運動レベルからトレーニングを始め、慣れてきたら徐々に運動レベルを強くしていきます。70%位の運動レベルでトレーニングできるようになれば十分です。

肥満対策のトレーニングとしては、比較的弱い運動レベルの目標心拍数で、できるだけ長時間できれば1時間以上実施してください。



2 選手のためのトレーニング

できるだけ実際のあなたの安静心拍数、最大心拍数を求めて、所要の運動レベルに応じた目標心拍数の範囲（HR ターゲットゾーン）を決め、トレーニングを行います。

A) スタミナ向上のトレーニング

持久力・疲労回復力の向上、体脂肪除去
運動レベル：60～70% 有酸素運動

B) 筋持久力向上のトレーニング

心肺機能・持久力の向上
運動レベル：70～80% 有酸素運動

C) 無酸素パワートレーニング 1

心肺・筋力・スピードの強化
運動中の回復力の強化
有酸素運動域の拡大
運動レベル：85%以上 無酸素運動

D) 無酸素パワートレーニング 2

最高出力・瞬発力の強化、スプリント力の強化
運動レベル：95%以上 無酸素運動

運動レベル (%) = $\frac{\text{目標心拍数} - \text{安静心拍数}}{\text{最大心拍数} - \text{安静心拍数}} \times 100$

目標心拍数 = (最大心拍数 - 安静心拍数)

$\times \frac{\text{運動レベル}(\%)}{100} + \text{安静心拍数}$

安静心拍数の求め方

たとえば、朝目覚めたときの心拍数のように、安静状態にあるときのあなたの心拍数を求めます。

最大心拍数の求め方

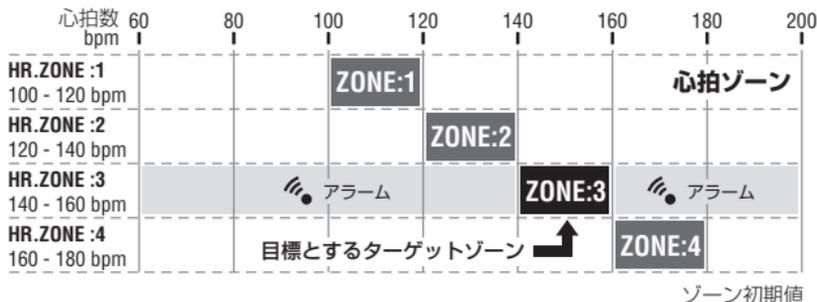
求める方法はいろいろありますが、標準値として「220 - 年齢」または「204 - 0.69 × 年齢」の計算で代用します。

心拍トレーニングに関する文献が数多く出版されていますので、それらを参考にすることをお勧めします。



3 HR ターゲットゾーンの使用

本器の HR ターゲットゾーンは、心拍数の変化をとらえる心拍ゾーンです。計測中に心拍数がこのゾーンから外れるとコンピュータはアラームを発し、 の点滅と音でライダーに通知します。心拍ゾーンはあらかじめ設定した 4 つのゾーンの中から選択します。たとえば心拍数 140 ~ 160 bpm を狙ってトレーニングする場合、下表のように **HR.ZONE:3** を選択します。これにより、コンピュータは計測中に、一旦心拍数がゾーン内に到達してから、139 bpm 以下になった時と 161 bpm 以上になった時にアラームを発します。HR ターゲットゾーンを設定すると、保存するファイル内にもその情報を読み込み、ゾーン内に留まっていた時間、上回った時間、下回った時間とその比率をファイルビュー (26 ページ) で確認できます。



- ※各ゾーンは自由に上限値/下限値を設定できます。
- ※HR ターゲットゾーン (1 ~ 4) またはオフの選択や、上下限值の変更はメニュー画面「HR ターゲットゾーン設定」(37 ページ) で行います。
- ※アラーム音のオン/オフは、メニュー画面「サウンド設定」(37 ページ) で行います。

トラブルと処理

次の場合は故障ではありません。修理を依頼する前にチェックしましょう。

表示上のトラブル

トラブル	チェック項目	対処
表示の動きが鈍くなる	周囲温度が低温（0℃以下）になっていませんか？	温度が上がれば元に戻ります。データに影響はありません。
画面に  が点灯する	コンピュータの電池残量が残りわずかです。	すぐに新しい電池（CR2032）と交換してください。 交換後は必ずリスタート操作（11 ページ）を行ってください。
「STOP!」が点灯する	ストップリマインダー機能（18 ページ）が働いています。	SS E を押して計測を停止すると解除されます。 計測途中の場合は、無視してください。
まったく表示がでない	コンピュータの電池が消耗していませんか？	新しい電池（CR2032）と交換してください。 交換後は必ずリスタート操作（11 ページ）を行ってください。
意味のない表示が出る		リスタート操作（11 ページ）を行ってください。
走行速度（ケイデンス）が計測できない	センサー ID 照合を行いましたか？ 他の同一センサーで ID 照合がされていませんか？  は点灯していますか？	センサー ID 照合（32 ページ）の SP1（スピードセンサー 1）または SP2（スピードセンサー 2）の照合を行ってください。  の消灯時は受信できません。 M1/+ または M2/- を押して受信スリープ（19 ページ）を解除してください。
	スピードセンサーの各センサーゾーンとマグネットの距離が離れすぎではありませんか？	自転車への取付け（7 ページ）を参照し、センサーゾーンと対面するマグネットの位置関係を正しく調整します。
	スピードセンサーの各センサーゾーンとマグネットの中心がずれていませんか？	
	受信スリープ状態や節電画面になっていませんか？	コンピュータ表面のいずれかのボタンを押して計測画面に戻します。
	スピードセンサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池（CR2032）と交換してください。
心拍信号を受信しない	センサー ID 照合を行いましたか？ 他の同一センサーで ID 照合がされていませんか？ ♥ は点灯していますか？	センサー ID 照合（32 ページ）の HR（心拍センサー）の照合を行ってください。 ♥ の消灯時は受信できません。 M1/+ または M2/- を押して受信スリープを解除してください。
	節電機能が働き日付・時刻表示だけにいませんか？	コンピュータ表面のいずれかのボタンを押し、節電機能を解除します。
	電極パッドが身体から離れていませんか？	電極パッドが身体に密着するように装着してください。

トラブル	チェック項目	対処
心拍信号を受信しない	心拍センサーは装着ベルトに正しく取付けていますか？	心拍センサーをしっかりと固定してください。
	肌が乾燥していませんか？(特に冬期)	心拍センサーの電極パッドを少し湿らせます。
	心拍センサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池 (CR2032) と交換してください。
	コンピュータの画面に  が点灯していませんか？ コンピュータの電池残量が残りわずかです。	新しい電池 (CR2032) と交換してください。 交換後は必ずリスタート操作 (11 ページ) を行ってください。
	電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？	新しい装着ベルトと交換してください。
心拍数表示が 0 になったり、計測されたりする	装着ベルトは身体に正しく装着されていますか？	心拍センサーの装着 (10 ページ) に従い正しい位置に装着します。
身体からコンピュータを遠ざけると心拍数表示が 0 になり、近付けると計測する	コンピュータの画面に  が点灯していませんか？	新しい電池 (CR2032) と交換してください。 交換後は必ずリスタート操作 (11 ページ) を行ってください。
	心拍センサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池 (CR2032) と交換してください。

操作上のトラブル

トラブル	チェック項目	対処
LTを押してもライトが点灯しない	コンピュータの画面に  が点灯していませんか？ コンピュータの電池残量が残りわずかです。	新しい電池 (CR2032) と交換してください。 交換後は必ずリスタート操作 (11 ページ) を行ってください。
走行しても計測を開始しない	オートモードがオフ (AT が消灯) になっていませんか？	オートモードがオフ (AT が消灯) のときは、ボタン操作で計測をスタート、ストップします。 自動計測する場合は、オートモードをオンに切替えてください。(35 ページ)
心拍センサー (スピードセンサー) のIDが照合できない		心拍センサー (スピードセンサー) の電池が消耗していることが考えられます。 新しい電池 (CR2032) と交換して、もう一度センサーID照合 (32 ページ) を行ってください。
ラップデータが記録できない	すでに 99 ラップ使用していませんか？	ファイルビューからラップを多く含むファイルを消去 (29 ページ) して、ラップの空きを確保してください。
	ラップタイマーが 100 時間 (または 区間 走行 距離 9999.99 km) 以上になっていませんか？	記録範囲を超えるとラップは計測できません。 リセット操作 (19 ページ) を行い、新しい計測を行ってください
	LAP を押した直後ではありませんか？	LAP を押した直後の 5 秒間は新たにラップを記録できません。
計測値に異常な値が出る	電磁波等を発生するもの (鉄道線路、テレビ等の送信所、Wi-Fi 環境等) が近くにありませんか？	原因と思われるものから離れて、リセット操作 (19 ページ) してください。
メニュー画面で設定を変更できない	計測中ではありませんか？	計測中はトップメニューの確認しかできません。
	オートモードがオン (AT が点灯) の場合、電磁波等により計測状態となる場合があります。	電磁波等の原因と思われるものから離れてください。
	画面に「DATA RESET」が表示されていますか？	HR ターゲットゾーンの変更には、リセット操作が必要です。 計測を停止して、リセット操作 (19 ページ) を行ってください。
ファイルビューに計測データが記録できない	総ラップ数が 99 ラップになっていませんか？	ファイルビューからラップを多く含むファイルを消去 (29 ページ) して、ラップの空きを確保してください。

電池の交換

購入時には、モニター用電池が装着済みです。電池交換は次の手順で交換します。

警告

取出した電池は、幼児の手の届かないところに置き、正しく処分してください。
万一飲み込んだときは、すぐに医師と相談してください。

- ※ コンピュータ、心拍センサー、スピードセンサーのいずれかが電池寿命を迎えたときは同時に電池交換することをお勧めします。
- ※ 電池寿命はあくまで目安であり、使用状況によって著しく違う場合もあります。
- ※ 防水性能を維持するためにはバッテリーカバーのパッキンが重要です。
電池蓋、パッキンに汚れが付いた場合は、きれいに拭き取り正しくはまっているか確認してください。

コンピュータ

電池寿命：1日1時間使用した場合 約1年

※ 電池残量が低下すると  が点灯します。

1. コンピュータ裏面のバッテリーカバーをコインなどで外します。
2. 新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。
3. 電池交換後は、必ずリスタート操作 (11 ページ) を行い、日付、時刻の設定を行ってください。



心拍センサー

電池寿命：1日1時間身体に装着した場合 約1年

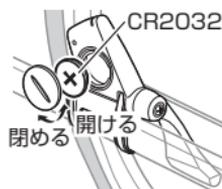
1. 心拍センサー裏面のバッテリーカバーをコインなどで外します。
 2. 新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。
- ※ 心拍センサーは、身体に装着すると電源を消費します。
心拍計測を行わないときは、外してください。



スピードセンサー

電池寿命：1日1時間使用した場合 約1年

1. スピードセンサー表面のバッテリーカバーをコインなどで外します。
2. 新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。
3. 電池交換後は、必ずマグネットとの位置関係と固定具合を確認してください。



メンテナンス

日頃のお手入れは次のように行ってください。

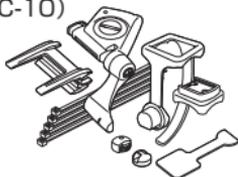
- 定期的に各センサーとマグネットの位置関係が正しく、しっかり固定されているか点検してください。
- コンピュータや心拍センサー、スピードセンサー等が汚れた場合は水で洗い流すか、薄めた中性洗剤でしめらせた柔らかい布で拭いた後、乾拭きします。ベンジン、アルコール等の有機溶剤は表面を傷めますので使わないでください。
- 装着ベルトは、肌に直接触れるため、ご使用後は汚れを洗うなど清潔に保ってください。

交換部品

標準部品

1603580

パーツキット
(ISC-10)



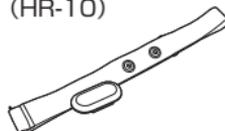
1603585

スピードセンサーキット
(ISC-10)



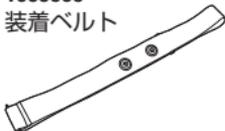
1603590

心拍センサーキット
(HR-10)



1603595

装着ベルト



1600280N

ブラケットバンド



1602193

ブラケット



1699691N

ホイールマグネット



1699766

ケイデンスマグネット



1665150

リチウム電池
(CR2032)



オプション部品

1602980

ナイロンタイブラケット



製品仕様

表示機能	上段表示	走行速度	0.0 (4.0) ~ 150.0 km/h [0.0 (3.0) ~ 93.0 mph] (27 インチの時)	
		平均速度	0.0 ~ 150.0 km/h [0.0 ~ 93.0 mph]	
		最高速度	0.0 (4.0) ~ 150.0 km/h [0.0 (3.0) ~ 93.0 mph]	
中段表示		心拍数	0 (30) ~ 240 bpm	
		平均心拍数	0 ~ 240 bpm	
		最大心拍数	0 (30) ~ 240 bpm	
		ケイデンス	0 (20) ~ 199 rpm	
		平均ケイデンス	0 ~ 199 rpm	
		最高ケイデンス	0 (20) ~ 199 rpm	
下段表示		日付	'00.01.01 ~ '99.12.31 (表示順切替え可)	
		時間	0:00'00" ~ 23:59'59" [AM 1:00'00" ~ PM 12:59'59"] (12 / 24 時間切替え可)	
		消費カロリー	0 ~ 9999 / 10000 ~ 999999 kcal (推定計算値)	
		積算時間	0 ~ 99999 時間	
		積算距離	0.0 ~ 9999.9 / 10000 ~ 999999 km [mile]	
		走行時間	0'00"0 ~ 59'59"9 / 1:00'00" ~ 99:59'59"	
		走行距離	0.00 ~ 9999.99 km [mile]	
		カウントダウン距離	9999.90 ~ 0.00 km [mile]	
		ラップ番号	L-01 ~ L-99	
		リアルタイム区間平均速度	0.0 ~ 150.0 km/h [0.0 ~ 93.0 mph]	
		ラップタイマー	0'00"0 ~ 59'59"9 / 1:00'00" ~ 99:59'59"	
		リアルタイム区間走行距離	0.00 ~ 9999.99 km [mile]	
	ラップ	上段表示	(区間平均速度、区間最高速度)	
		中段表示	(区間平均心拍数、ラップナンバー、区間最大心拍数)	
下段表示		(区間走行距離、ラップタイム、スプリットタイム)		
制御方式	ワンチップマイクロコンピュータ・水晶発振器			
表示方式	液晶表示 (EL バックライト付)			
速度・ケイデンスセンサー検知方式	無接触磁気センサー			
センサー信号送受信方式	2.4 GHz ISM Band (センサー毎に ID 付、スピードセンサーは SP1・SP2 の 2-ID 設定可)			
通信範囲	5 m (天候などの環境により延びる場合があります)			
使用温度範囲	0 ~ 40 °C (動作保証範囲: 範囲外では、表示の視認性が悪化)			
保存温度範囲	- 20 °C ~ 50 °C			
タイヤ周長セット範囲	0100 ~ 3999 mm スピードセンサー ID ごとに 1 サイズ (初期値: SP1 = 2096, SP2 = 2050)			
電源 / 電源寿命	コンピュータ	: CR2032 x 1 / 約 1 年 (1 日 1 時間使用時)		
	心拍センサー	: CR2032 x 1 / 約 1 年 (1 日 1 時間身体装着時)		
	スピードセンサー	: CR2032 x 1 / 約 1 年 (1 日 1 時間使用時)		
寸法 / 重量	コンピュータ	: 56.5 x 38 x 16.9 mm / 30 g (電池を含む)		
	心拍センサー	: 31 x 62.5 x 13.2 mm / 15.4 g (電池を含む)		
	スピードセンサー	: 47.4 x 62.4 x 13.1 mm (アーム部除く) / 21 g (電池を含む)		

※ 平均速度は、走行時間が 100 時間または走行距離が 9999.99 km/h を超えると「E」を表示します。

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ユーザー登録のご案内

キャットアイホームページ (<http://www.cateye.com>)

保証サービスを敏速に行うために、お求めいただきました製品は速やかにユーザー登録を行ってください。今後、新製品の情報やテクニクサポートを提供する場合があります。

ユーザー登録の方法は当社ホームページ上でオンライン登録していただくか、下のユーザー登録カードをカスタマーサービス宛までご返送いただくかをお選びください。登録には製品シリアル番号が必要になりますので、コンピュータのバッテリーカバーに記載の7桁の数字をお控えください。

--	--	--	--	--	--	--

送り先：株式会社キャットアイ カスタマーサービス宛
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2-8-25

保証規定

2年保証

CC-TR310TW：コンピュータ/心拍センサー/スピードセンサーのみ

CC-TR210DW：コンピュータ/スピードセンサーのみ

(電池の消耗は除く)

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。

返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が記述されたレシートまたは領収書を添えて、当社宛てに直接お送りください。レシートまたは領収書がない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

宛先： 株式会社キャットアイ カスタマーサービス

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2-8-25

TEL：06-6719-6863 ダイヤルイン

FAX：06-6719-6033

① Please fill with 7-digits numbers marked on the battery cover of main unit.
コンピュータ裏面のバッテリーカバーに記された7桁の数字をご記入ください。
Veuillez indiquer le numéro à 7 chiffres indiqué sur le couvercle de la pile de l'unité principale.
Geben Sie bitte die siebenstellige Nummer an, die auf der Batterieabdeckung der Haupteinheit steht.
Vul de 7-cijferige nummers in die op de batterijdeksel van de computer staat.
Por favor, complete el número de 7 dígitos mostrado en la tapa de las pilas de la unidad principal.
Inserire il codice di 7 cifre indicato sul coperchio del vano batterie dell'unità principale.

REGISTRATION CARD

ユーザー登録カード

Fiche d'enregistrement

Registrierkarte

Tarjeta de registro

Scheda di registrazione

Registrierungskarte

V3n



Name

お名前(フリガナ) Naam
Nom Nombres
Name Nome

Serial No

シリアルNo
No. de série
Seriennr Seriennummer
Número de matrícula

--	--	--	--	--	--	--

Address

ご住所 Adres
Adresse Dirección
Adresse Indirizzo

Phone

電話番号 Telefon
Téléphone Teléfono
Telefon Numero di telefono

E-mail address

Eメールアドレス E-mailadres
Adresse e-mail Dirección de correo electrónico
E-mail-Adresse Indirizzo e-mail

Dealer or Shop name

ご購入店名
Nom du magasin ou du revendeur
Name des Händlers oder des Geschäfte

Dealer of Naam van winkel
Nombre del proveedor o de la tienda
Nome del punto vendita

Dealer or Shop address

所在地
Adresse du magasin ou du revendeur
Adresse des Händlers oder des Geschäfte

Dealer of Adres van winkel
Dirección del proveedor o de la tienda
Indirizzo del punto vendita

The date of purchase

ご購入日 Datum van aankoop
Date d'achat Fecha de compra
Kaufdatum Data di acquisto

/ /

Your name address or e-mail address will not be sold or shared with any other company.

ご注文いただいた情報や内容の管理には万全を期し、新製品情報やテクニカルサポート提供以外に使用することは一切ありません。

Votre adresse postale et votre adresse e-mail ne seront pas vendues ou transmises à d'autres entreprises.

Ihr Name oder Ihre E-Mail-Adresse wird weder weiterverkauft noch an eine andere Firma weitergegeben.

Uw naam, adres of e-mailadres zullen niet beschikbaar worden gesteld aan derden.

Su nombre, dirección o correo electrónico no serán vendidos o compartidos con otras empresas.

Il vostro nome, indirizzo o indirizzo e-mail non saranno venduti o condivisi con altre società.

INTERNATIONAL WARRANTY CERTIFICATE

保証書

CERTIFICAT DE GARANTIE INTERNATIONALE

INTERNATIONAAL GARANTIECERTIFICAAT

CERTIFICATO DI GARANZIA INTERNAZIONALE

INTERNATIONALES GARANTIEZERTIFIKAT

CERTIFICADO DE GARANTÍA INTERNAZIONALE

PURCHASER'S NAME/ADDRESS

Serial No

ご住所・お名前
NOM/ADRESSE DU CLIENT
NAME UND ANSCHRIFT DES KÄUFERS
NAAM/ADRES KOPER
NOMBRE/DIRECCIÓN DEL COMPRADOR
NOME/INDIRIZZO DEL COMPRATORE

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



DEALER'S NAME/ADDRESS

販売店名・住所
NOM/ADRESSE DU DISTRIBUTEUR
NAME UND ANSCHRIFT DES HÄNDLERS
NAAM/ADRES VERKOPER
NOMBRE/DIRECCIÓN DEL DISTRIBUIDOR
NOME/INDIRIZZO DEL VENDITORE

DATE OF PURCHASE

お買い求め年月日
DATE D'ACHAT
VERKAUFSDATUM
AANKOOPDATUM
FECHA DE COMPRA
DATA DELL'ACQUISTO

/ /

DIGITAL
24G

CATEYE CO., LTD 2-8-25, KUWAZU, HIGASHI SUMIYOSHI-KU, OSAKA, JAPAN 546-0041

www.cateye.com

CE 2150



066601060 2